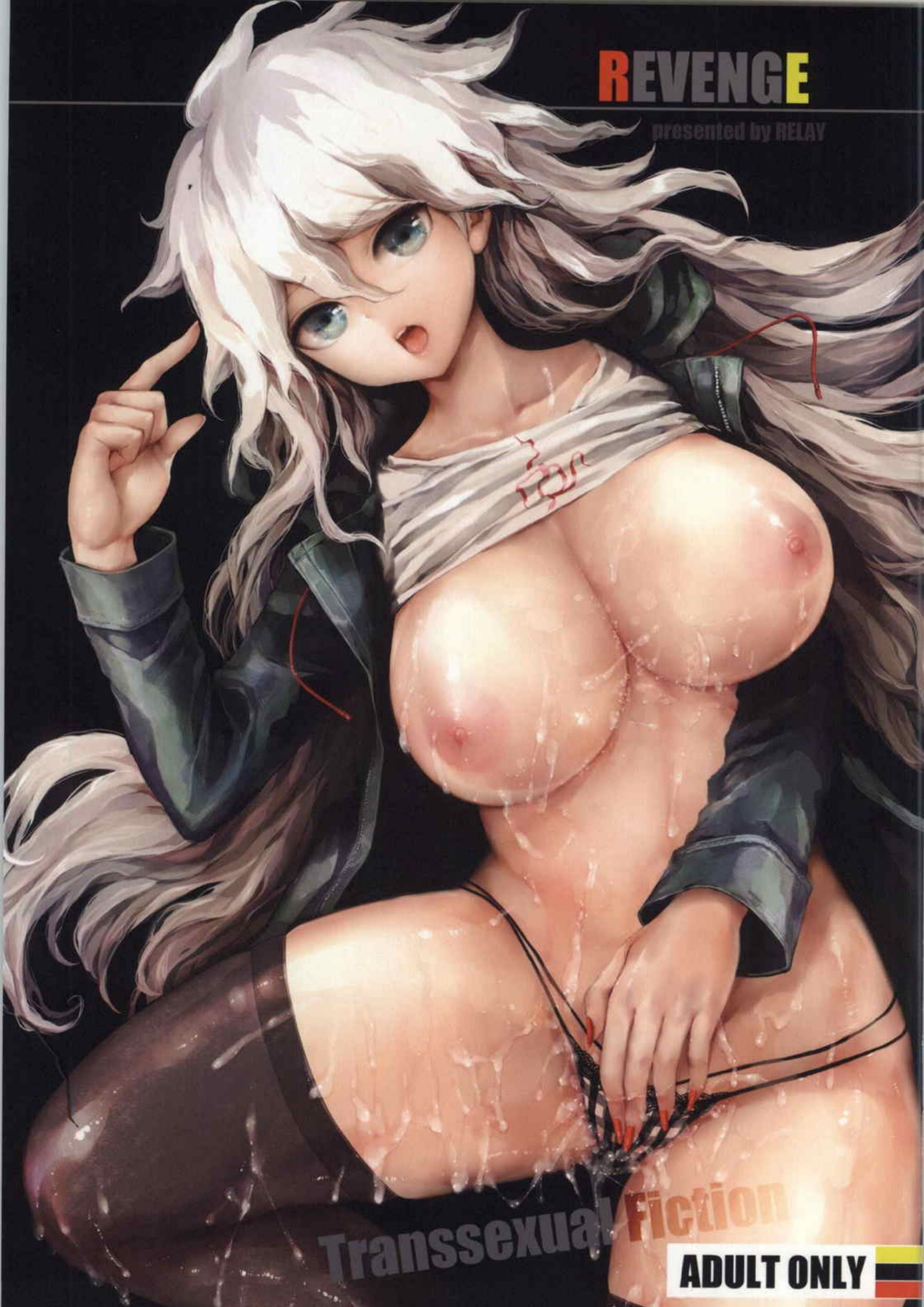


# REVENGE


presented by RELAY



Transsexual Fiction


ADULT ONLY





数年ぶりに

僕の目の前に  
再び姿を現した



女の  
形をした

おぞましい  
『絶望』は



僕の事を

『超高校級の  
希望』

…と、  
知るや否や

あだっぽく  
擦り寄り  
僕を求めた





復讐が  
始まろうとも  
知らずに

僕の未来を  
歪ませた  
この女への

これから



**REVENGE**  
リベンジ

presented by 莉零









ボクはやつぱり  
ツイていたんだ





今になって、学園内で  
トッピングクレント  
最高機密だった君！

はア

はア

はア

はア

はア

はア

『超高校級の  
希望』に

出会える  
なんて！

は...



この  
絶望で汚濁した  
世界で  
絶対的な  
希望を  
見つけたんだ

あはっ  
あはははは

最っ高に  
ラッキーだよ

ラッキー？

この女ー



それが  
あなた  
の才能  
ですか？

えっ？

過去に  
学園内で

うん♡

僕と何度も  
会っていたのに

あなたの才能程度  
のツマラナイ物なんて  
僕も持っていますけどね

僕のことを簡単に  
忘れていた有様





ボクなんかの興味を持って  
くカラダに  
れるなんて

おはっ

あ

これこそ

人の怒りを  
煽って心を  
引つ掻き回す

この女の  
悪意



君は

予備学科の  
生徒なのかな？

本科に  
興味があるの？





俺みたいなのが  
予備学科のヤツが  
本科を見たら  
していい学

迷惑に  
思うか？

迷惑だなんて  
思うワケないよ



ボク  
なんか  
抽選で本科に  
入学だから  
だけだ

人に誇れる  
才能なんて  
ないんだも



だから、  
本科の生徒より

予備学科である  
君と似てると  
思うんだよね。



俺は  
『例の計画』に  
成功したら  
本科に  
移籍できるかも  
しれないなんて

今は、  
言いたくても  
我慢しよう





それにしても

本科に入れるための  
才能を一つでも  
持っているアイツと

何も持って  
いない俺

有と0とでは  
全く別物だ



何者だ  
あの男は？

さあ？  
でも…

本科の生徒では  
なさそうですね

どうしてですか  
ソニアさん？



私は

本科に在籍している  
全学年分の生徒の  
名前と顔を全て  
把握しているんです

彼を知らないの  
で恐らく予備学科の  
生徒だと思えます

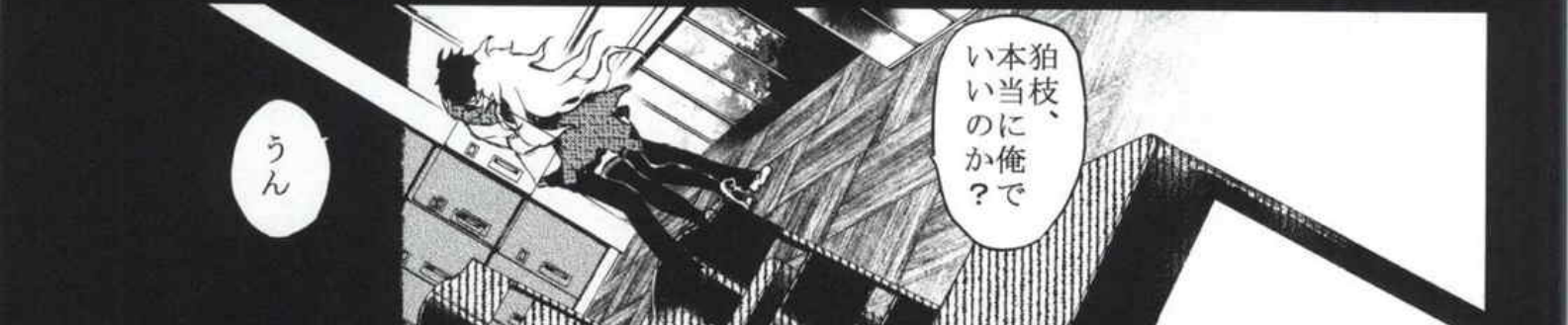


さすが  
ソニアさん  
俺の嫁！

すみません、私  
人類なので  
辞退します

俺も真正銘  
人類ですけど！

フハハハ  
愚かな  
下等生物め



狼枝、  
本当にか俺で

うん





ボクの事を

気味悪がらないで  
構ってくれ  
日向くんが

ボクは  
大好き  
だよ

「…?  
「気味悪く」?

オマエ、こんな普通に  
女のコしてるのに  
そんなこと  
思うヤツが  
いるのか?



残念だけど  
それがボクの  
総合的な評価だよ

「…俺は  
信じないぞ

「は？」

「は？」

「は？」

「は！」



嬉しいな

もっと  
キスしてよ

んっ…

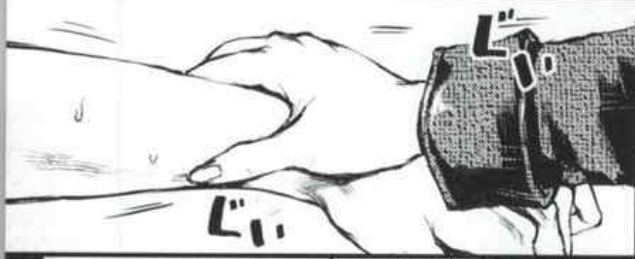
えっ?





今日こそ  
ボクを

愛して  
くれるよね？



ぐい



ぐい



わっ



カラダの  
初めるの？

もしかして  
日向くん



『何をされても』って  
そんなこと簡単に  
言うなよオマエ

君になら  
何されても  
構わなよ

そんな、  
恥ずかしいでよ

俺は『才能』を  
持ってない

あ

心無いヤツから  
『どうせ予備学科の生徒なんて  
希望を金で買ったつもりでいる  
バカばかりだべ』と叩かれたり  
学園側から本科の生徒より  
冷遇される事なんか…

いあや

どうして？  
僕が君に対して  
ダメなの？  
そう思っちゃ



もう、  
悩んじゃ  
ダメなん  
だ

彼女が

俺みたい  
などこに  
いても  
平凡な男  
を

『好きだ』  
ってー

求めてる

彼女に対する  
劣等感を拭えずに  
いることの方が

彼女を悲しま  
せ  
て  
し  
れ  
な  
い  
か  
も

俺は素直に  
彼女の好意を

受け入れられ  
ば

はー  
はー







「知らない男の子が襲ったのよ!!」

助え



オチンチンまるだし!

きやあつ!

え



は?

予備学科?

まさか、予備学科の  
コイツだったなんて

「猪枝が最近知らないと男に付きまとわれていて言うて言うてたけど」

大丈夫か猪枝?



猪枝が誘ってきたんだ!

俺はストーカーじゃないぞ!

ストーカー男  
キモツ!

どうして本科に予備学科の生徒がいるの?





クソッ



猫枝がウソ  
ついてるんだ

ウソつきは  
てめーだろ！  
ブツ殺されたく  
なかったら二度と  
そのツラ見せんな

信じてくれ！

左右田さん！

暴力は  
ダメです

はい、スミマセン  
もうやめます！



予備学科の  
分際で

なんで  
このう時だけ  
俺の目を見てけ  
言うんですか？

まあ、本当に  
困りますわね

『誘ってきた  
女の方が悪い』っ  
性犯罪者の常套句  
だよーね！





本科の女子を  
暴行しよう  
なんて



生きている  
だけで害悪な  
クズだね。



私たちの計画に  
同意  
願えるか？

同意  
願えるか？

日向創クン



才能を  
持っている  
だけでいい  
持っていない  
者に対して  
めんな  
たどめ  
たどめ  
たどめ

そんな奴らの  
どこが象徴と  
呼べるんだ？



創  
だ  
っ  
た  
ら  
俺  
も  
や  
る  
よ

その  
『才能』  
ってヤツを





しかし、まあ  
学園長—

ご自分の娘と  
同じくらの  
少年を簡単に  
実体を単純に  
差し出すとは

何を言う



日向創は先日、  
本科の女生徒に対し  
強姦未遂という大変な  
悪事を犯してくれた

『希望』とは程遠い存在に  
堕ちてしまった少年を

どう利用しようと  
私の勝手だ



それに—



表向きには分  
彼は退学処分

我々が  
危惧する  
問題は  
何もない。



…と  
わけ  
でい  
う

「彼」はもう  
消えたよ

狛  
枝  
ク  
ン

あーあ、  
ガツ  
カリ  
した

なん  
だ？

彼に未練でも  
あつたのかい？

まさか！  
それは  
違うよ

ス  
ク  
ー  
ル  
学  
校  
カ  
ー  
ス  
ト

暴  
行  
未  
遂  
の  
レ  
ッ  
テ  
ル

彼の求めていた  
『希望』って

その程度で  
心が折れて  
諦めるくらい  
のモノだったんだね





君はまさに  
毒婦だね！

え？

おれ



絶望的に  
みつともないよ

よりいつそう  
頑張らなければ  
いけないのには  
なんて為体

予備学科生は  
才能という  
切り札を  
持つていない分



『希望』のため  
という名目で  
平凡な男子生徒に  
理不尽な絶望を  
焚きつける女を



よくも  
平気な顔して  
抱けるわね

おれ



おぞましい……！

絶縁だけじゃ  
物足りないわ、  
死ね 学園長



「学校カースト」

「暴行未遂の  
レッテル」

「日向くんが  
求めていた  
『希望』って」

「キの程度で  
心が折れて  
諦めるくらい  
の、  
そ、  
だ、  
っ、  
た、  
ん、  
だ、  
ね」

：なんて、  
あの女が、  
セリフですな

：誰だ  
オマエ？

ずいぶんな  
物言いですな

あなたが怖気づいて  
変わらないうるから

代わりに僕が  
創られたんです

オマエは  
オマエの  
オマエ

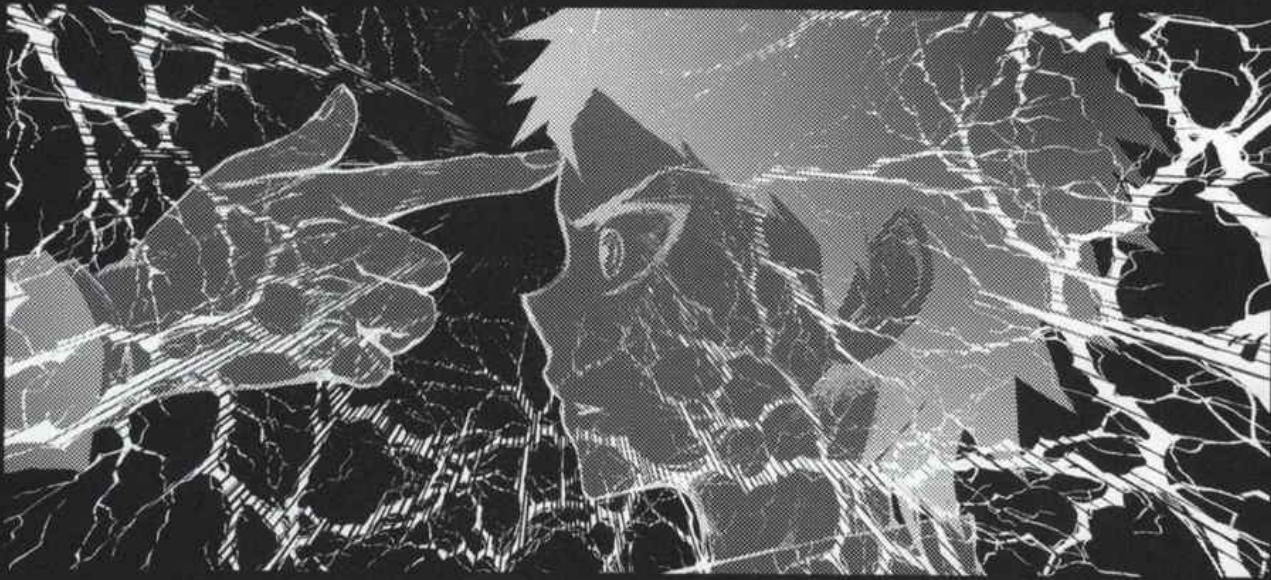


今まで  
利用され見下され  
搾り取られる  
立場だったあなたは



今はもう、  
すべての才能という  
誰もがうらやむ  
最高の能力を  
持っています

それなのに  
あなたはまだ  
利用される立場から  
逃れられていない



僕はあなたとは  
記憶と人格と感情を  
脳で共有することに  
創出されました

でも、僕は  
信じています。



私欲<sup>エゴ</sup>だけで浅はかに  
利用することしか考えず  
勝手に生み出された  
希望<sup>ぼく</sup>を

最悪な事態を無責任に  
隠蔽しようとした  
老害共の狡猾さが  
助長させた

絶望<sup>ぜつぼう</sup>を

そして  
あの女を――

INTERLUDE

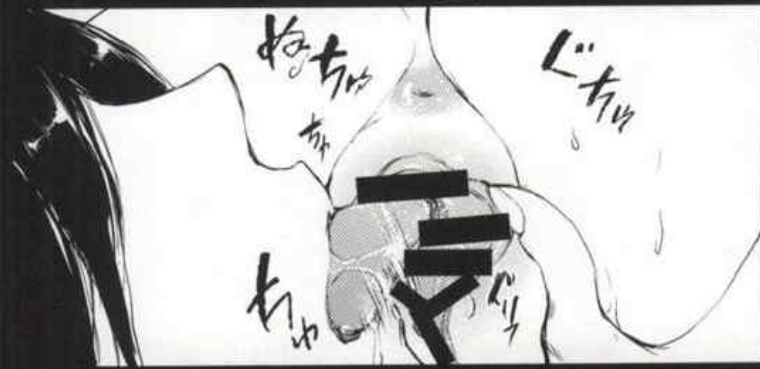


日向創が全て  
ほしいままに支配するんです



ボクには  
わかるんだよ

はい？



君は  
ボクなんかとは  
違って、

希望に  
愛された  
人間なんだって





僕が、  
希望に愛された  
人間……ですか

光栄です

誰が

「希望に  
愛された」  
だって？

ボク、こんなに  
気持ち良くされたの  
初めて

もう  
イツチャウ

あつ  
イイ！

僕の才能  
だけじゃない  
見てほしい

この  
クソ女  
やっぱり



ボク、なんでも  
受け入れるからさ

『なんでも  
受け入れる』？

ざける  
な

何も持っていないかった  
僕の心を

簡単に  
踏みじった  
でしょう

ちーどー







さあ、

はー

は

は

は

は

あはっ

入っちゃった

よわい  
悦んだ

挙句に  
あなたの

胸内から  
愛されてるっ

大嫌いな絶望でも  
叩きつけて  
差し上げましょうか？





かつて  
僕を手のひらで  
転がした挙句

ボクの幸運には

いつも  
絶望がまとわり  
ついていた

だからボクは  
今まで幸せだなんて  
思ったことは  
一度もなかった

僕を陥れた  
この女は

では、

僕があなたと  
一緒にいれば  
幸せですか？

うん♡

ボクの周りの誰かが  
お人か二人死んでも  
おかしくないくらい  
幸せだよ

今となっては 僕の行動一つ次第で 幸福にも 不幸にもなる女





でも、  
君は

ボクといっても  
死んでしまうなんて  
思えないんだ  
絶対に！



ボクが  
君がもっとと輝くための  
踏み台になってあげるし

いざという時は  
ボクが君の代わりに  
死んであげるよ

そうですか…

死ね



もういい  
もう、完全に

この女は  
僕のモノ

僕も





幸せです

こんなに たやすく 手に入る この女が 抉り潰したいほど 憎い





この船が  
どこに行き着くか  
わからないけど

毎日  
こうやって

ボクを愛して  
くれるよね？

はい



絶対に  
ボクを  
離れないでね。

はい

31



なかに  
出してい  
ますか？

いつ  
っちゃうの？

全部  
出して！

なかに  
出してい  
ますか！

















いの…

えん？  
えん？

クソ売女！

ギョウ

簡単に股を開くようなツマライナイ女なんて

あなたのようなの元々なんの才能もなかったツマライナイ僕みたいな男に





何の権利があつて  
ボクを...!!



無価値な  
モノです



道端に  
落ちて  
いる  
ゴミクズ  
以下の



「権利」?



白

パキッ  
パキッ  
パキッ

パキッ

パキッ  
パキッ  
パキッ



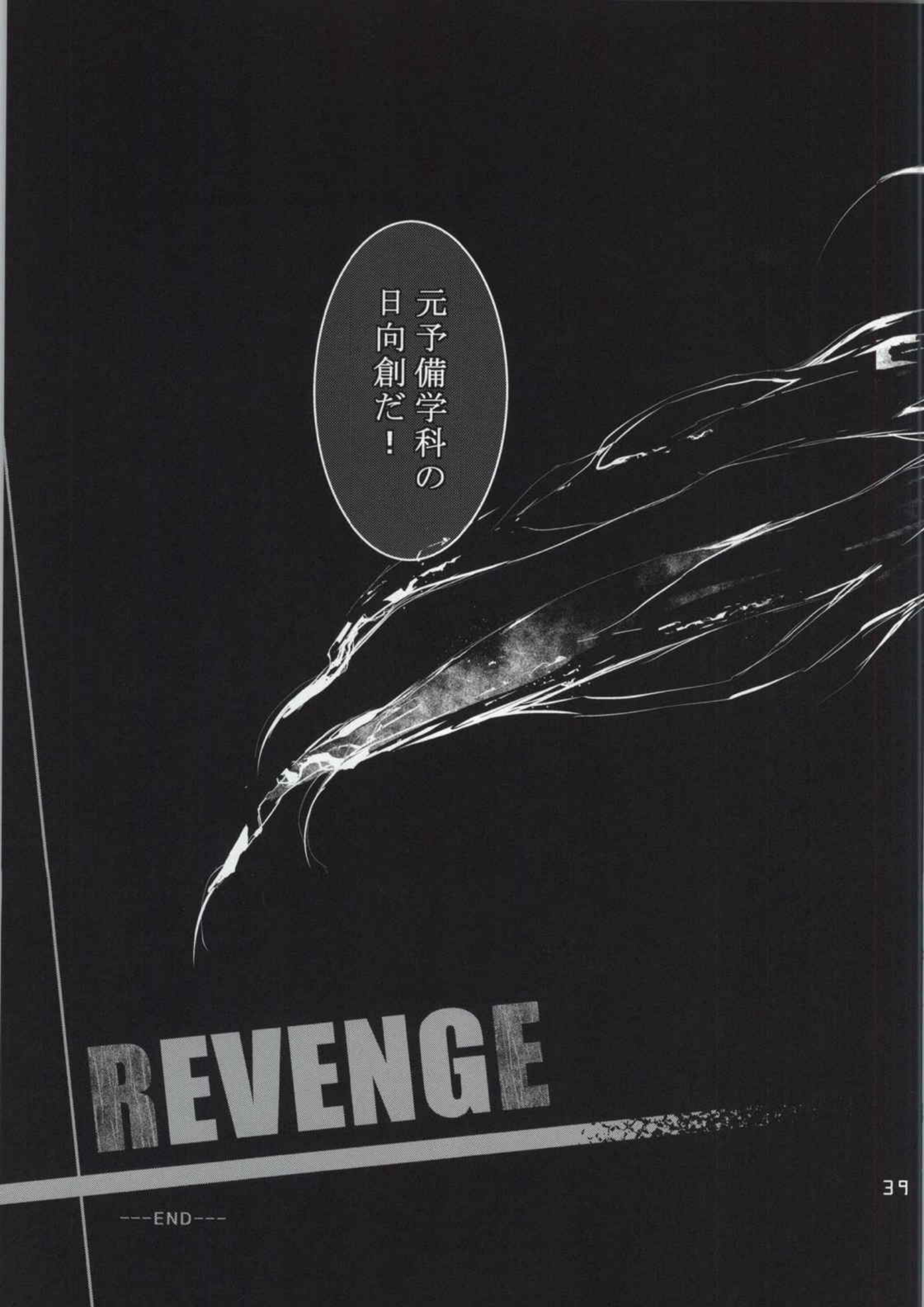




オマエが

徒に侵害した





元予備学科の  
日向創だ！

**REVENGE**

---END---



**REVENGE**

presented by RELAY



**Transsexual Fiction**

**ADULT ONLY**